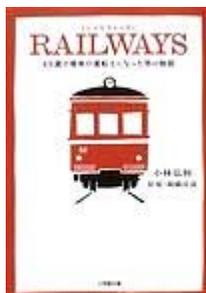


# ライブラリーニュース5月号

笠岡商業高校 図書視聴覚課  
2010. 5. 31 発行

もう5月も終わり、日に日に暑くなってきました。  
図書館では、入り口すぐに特集を組んで本の紹介をしています。  
現在は原作特集として、映画化・ドラマ化されたもの、これからされるもの  
の原作本を紹介しています。  
これから雨も多くなる時期です。雨で外に出られない・・・そんな時はゆっ  
くりと読書はどうでしょうか？

## 「RAILWAYS 49歳で電車の運転手になった男の物語」



49歳の筒井肇は仕事一筋、取締役の椅子も約束されて  
います。しかし、今の仕事は800人のリストラ。悩みな  
がらの仕事、家庭も崩壊寸前です。そんな時、故郷の母が  
病に倒れ、親友の死を知らされ・・・肇は会社を辞め、小  
さい頃からの夢だった「バタデン（一畑電車）」の運転士に  
なることを決意します。

もう一人の運転士の宮田大悟は甲子園のエースピッチャー  
でした。肘を壊し、プロへの夢をあきらめ、挫折のなかで  
運転をしています。ある日、そんな自分の運転を憧れの目で見つめる少年に  
気づきます。少年の目は、甲子園のマウンドに立つ自分に注がれた野球少年  
たちの目と同じでした。

肇は母との約束を果たせるのでしょうか。大悟は仕事を続けられるのでしょ  
うか。

私の父も祖父も国鉄（現在のJR）の職員でした。私は教員という違うレ  
ールを選びました。今年、息子は大学の4年生です。どんなレールを走るの  
でしょうか。

（図書視聴覚課 佐守 謙一）

6月2日（水）は芸術鑑賞会

## 劇「肝っ玉おっ母とその子どもたち」

今年の演目は東京演劇集団 風 による演劇「肝っ玉おっ母とその子供た  
ち -あとから生まれてくる人たちに-」です。

劇は17世紀のヨーロッパに起こった「三十年戦争」と呼ばれる宗教戦争  
を題材にしています。主人公は、軍隊の進軍にくっついて軍隊を相手に商売  
をしているたくましい母親。しかし彼女は戦争が大嫌い。商売は生活のため  
で、3人の子供たちが戦争に巻き込まれないように気を配っています。  
彼女と子供達にどんな運命が待ち受けるのでしょうか。ご期待下さい。



作者はドイツの劇作家ベルトル  
ト・ブレヒト。1898年に生まれ  
て、16歳のときに第1次世界大戦、  
40歳のときに第2次世界大戦が  
起きます。作品にはこれらの戦争体  
験が反映されています。他の代表作  
として『三文オペラ』、『ガリレイの  
生涯』などがあります。

今年は順番により午後の公演に  
なります。3限まで授業を受けた後、  
早めに昼食を取って市民会館に移動します。

## 今年国民読書年

読書への国民の意識を高めるため  
諸機関が協力し、全国で様々なイベ  
ントを行います。



じゃあ、読もう。

いつもより本に多く接し、人生をより豊かなものにしていきましょう。

# <図書委員 注目の一冊>

1Q84 村上 春樹



0歳の時に会って、離ればなれになった青豆と天吾は、この世界で自分一人で生きていく孤独に耐えながら、リアリティの感じられない日々を暮らしていた。しかし、1984年に2人とも同じ組織に対する活動にそれぞれが巻き込まれていく。そして、青豆は現実とは微妙に異なっていく不可思議な1984年を「1Q84年」と名付ける。

Book1、Book2では、スポーツインストラクターであり、同時に暗殺者としての裏の顔を持つ青豆を主人公とした「青豆の物語」と、予備校教師で小説家を志す天吾を主人公とした「天吾の物語」が交互に描かれる。Book3では2つの物語に加え、青豆と天吾を調べる牛河を主人公とした「牛河の物語」が加わる。

嵐の夜の読書

池澤 夏樹



世紀を跨ぐこの10年間はまさに激動の時代であった。あの9・11の悲惨な事件を無視してこの時代を語ることはできないだろう。いかなる文学や思想もこの惨事とまったく無関係ではありえない。古典はともかく、新刊書は洪水のごとく刊行されている。しかし、この暗い嵐の夜のような時代において、現実の問題点を照射し、解明への水先案内人たるような本はどこにあるのか？ 著者は現在もっとも信頼に値する、視野の広い批評家＝読み巧者の一人であり、これは時代の流れに真摯に向き合った読書人の10年間の貴重な記録である。丸谷才一・大江健三郎・梨木香歩などへのていねいな作品鑑賞からアイヌの復権・琵琶湖の漁師・沖縄のサトウキビ刈りといった話題まで、またチョムスキーやサイド・ル・クレジオへの刺激的な接近、アウシュヴィッツやイラクへの鮮やかな視手引きである。

サッカーボーイズ 明日への絆

君のためならかえりぬ

清水 久美子



仲間との絆は何物にも代え難い大切な宝物。その想いがここに詰まっている。脳腫瘍と戦った佐々木諒平と仲間たちが紡ぐ実話。サッカー少年と熱き仲間たちの感動のお話なので、ぜひ読んでみて下さいね。

(3A 土H)

新参者

東野 圭吾

日本橋小伝馬町で一人暮らしの40代の女性が絞殺された。日本橋署に着任したばかりの加賀恭一郎は、事件を追って、未知の土地を歩き回る。

立ち回るのは日本橋で暮らす家族や店が抱える謎。彼は独自にその問題を解いていき、次第に事件そのものの真相をつかむ。

周りが「どうして あんなにいい人が...。」と声を重ねるほど評判のよかった彼女の身に一体何が起きていたのか...。

☆ドラマ「新参者」を見ている人はぜひ読んでみては？

3B 山本

